

宝木だより

第17号
 発行 宝木まちづくり協議会
 (宝木地域コミュニティセンター内)
 TEL・FAX 028 - 624 - 0531
 (題字 北條信男氏 書)



地域の皆様に支えられて40年

～ 未来へ繋ぐ新たな1歩 ～

宇都宮市立宝木小学校

昭和49年、4月1日に宝木小は誕生しました。記録によれば、「PTAの皆様の献身的なご協力を得て、机・椅子、ピアノから理科室・家庭科室の大型机に至るまで、手作業で搬入作業を行った」とあります。

新しい学校の誕生に、誰もが期待を抱き、一致団結して取り組んでいたことが分かります。また、その様子が目に浮かんでくるようでもあります。

その日から歴史を積み重ね、今年度、創立40周年を迎えた宝木小学校です。PTAの皆様、そして地域の皆様に支えられながら、大きく成長してきました。

今年度、節目の年を迎え、未来に向かって新たな一歩を踏み出します。

40周年の今、改めて宝木小の原点を見つめる

下の写真は、学校のシンボルとして移植された「メタセコイア」の大樹で、子どもたちの思い出の拠り所として共に育ってきました。

地域の皆様に支えられて、育ってきた宝木小学校の原点がここにあります。

右下の写真は、開校当時の宝木小学校周辺を空撮したものです。

校舎1棟とプールが写っています。学校敷地を囲む道路は整備されているが、これにつながる道路は未舗装のようです。もちろん環状線道路(正しく「宮環」)も整備される前であり、住宅等の建物もほとんど見当たりません。

当時の様子を振り返ることができる、貴重な写真です。



開校時の築山 奥がアスレチック



宝木小の原点
 そしてシンボル
 大きなメタセコイア
 これからも確かな歩みを
 一歩ずつ
 地域の学校として



原点を語る「築山」



今年、人工芝の張り替えを行う築山

左上の写真は、開校当時の築山、左下は現在の築山です。

開校当時は、築山にタイヤが埋められ、PTAの皆様が精魂込めて作られた木製アスレチックが隣接して設置されていました。その後、築山は人工芝に覆われ、「ムーンロケット4号」と名付けられた2代目のアスレチックが作られました。

現在、安全面の観点からアスレチックは姿を消し、ジャングルジムが設置されています。

しかし、築山は今も健在。宝木小の子どもたちの大切な遊び場として活躍しています。

開校以来、子どもたちをずっと見守り続けてきた築山は、宝木小の歴史の「証人」であり、原点を物語る大切な施設です。

